

JAあわ

人とつながり、土とつながり、房総の未来へつなぐ

2025

11

No.356



地域の様々なフレールドが子供たちの舞台に

感動の瞬間が心に根を張り

地域の未来を育てていく

繋げよう
安房の未来へ

スマイルファーマー 株式会社 ワンオール
代表取締役 下羽 秀平さん 南房総市千倉町

自然と人が作る「感動の循環」

子供たちの学びも、旅人の非日常も 地域の未来を育てる力になる

南房総市千倉町

スマイルファーマー／株式会社 ワンオール

下羽 秀平さん

品目（食用ナバナ）



南房総市千倉町出身で『共に輝く』『情熱』の思い出の「1ページ」をテーマに農業体験やマリンスポーツ、子供向けワークショップなど地域資源を活かした体験型事業を開催しています。また、企業の福利厚生プログラムもあり都内の方々が参加されることも多く、日常では味わえない「非日常」の体験を通じて、地域との新たな繋がりを育んでいます。

私がこの事業を始めたのは、「関わる人がすべて笑顔になるように、すべては笑顔と未来のために」という想いからです。自然の中で過ごす時間が人の心を動かし地域の魅力を再発見するきっかけになる。そんな場をつくりたいと思い、日々活動を続け現在に至ります。今では、体験にいらした方々が地元の宿泊施設や飲食店を利用することも増え、地域経済に輪が生まれ良い循環が出来ています。

また、この時期力を入れているのが秋から冬にかけて栽培する地域特産品の「食用ナバナ」です。地域の方々の勧めで始めたこの取り組みも3年目を迎え、現在JAに全量出荷し安定した収入に繋がっています。この安定の背景には、JA安房の担い手支援担当者の方による細やかな圃場巡回と営農指導、言葉だけはない本当の意味での対話活動があります。栽培の不安や課題を一緒に乗り越えてくださるその姿勢に心から感謝しています。

食用ナバナは地域の誇りであり未来への希望です。

普段の生活では味わえない発見と感動を参加者の皆様に体感してもらい、地域経済と地域の人たちを繋ぐ輪が

地域全体がチーム、感動でつながるバスで まちの未来を照らすゴールへ



農業だけではなく、スポーツクラブを通じて地域の子供たちへ
「自ら考え、行動できる個性」の育成にも努めています



OneAll.

ワンオールHPは
左記QRコードから



広がり笑顔が広がることで未来が明るくなる——そんな
希望を胸に地域と人を繋ぐ架け橋になれるよう今後も活
動を続けます。



**9/10 9/26 富浦町多田良地区
食用ナバナチャレンジセミナー（圃場実習）
晴天の下、土に触れ栽培の基礎を習得**

挨拶をする福原義和常務理事



JA 安房菜の花部会副部会長 長谷川喜久雄氏の指導を受けるセミナー生ら

南房総農業支援センターとJA安房は9月10日、26日、食用ナバナチャレンジセミナーを南房総市富浦地区の圃場で開催、当日は晴天のもと受講生、JA安房菜の花部会役員、関係機関ら約30名が参加しました。

研修内容は播種、農薬防除、間引きについてJA安房菜の花部会副部会長の長谷川喜久雄氏、安房農業事務所池田駿雄普及技術員を講師に迎え、一つ一つポイントを交えながら説明、参加者全員が実際に作業しながら食用ナバナ栽培の基礎を学びました。

間引き作業とは発芽、生育するに従い葉などが密集して日光不足や肥料不足で徒長するのを防ぐため混み合っている箇所から植物を取り除いて株間を確保する作業で食用ナバナ栽培において重要な作業になります。セミナー生は見学だけでなく全員がしっかりと実習に取り組むことで更なる理解を深めることができました。

参加者からは「実際の圃場で学べるのがありがたい」「実際にやってみると、ナバナ栽培の難しさ



参加者でチームごとに分かれ実習を行いました



牡牛座

(4・20～5・20)

【全体運】勢い余ってのミスに気を付けて。結論を急ぎたいときほど丁寧に検討を。うまい話は特によく調べましょう

【健康運】痛みのケアにはつぼ押しやマッサージが有効

【幸運の食べ物】セロリ



牡羊座

(3・21～4・19)

【全体運】スタートは多少もたつきますが徐々にスピードアップ。自然のリズムを大切に。大きな買い物は慎重に下調べを

【健康運】しっかり準備運動すればハードなスポーツもOK

【幸運の食べ物】シュンギク

11月の運勢
モナ・カサンドラ

9/10 食用ナバナチャレンジセミナー2回目 播種、薬剤防除



両日とも晴天の下、開催された実習を主としたチャレンジセミナー

9/26 食用ナバナチャレンジセミナー3回目 間引き・病害虫の見分け方について

さと面白さがよく分かった」など
の声が聞かれ充実した研修となり
ました。

今後は11月下旬に収穫作業を行
い、出荷を意識した束・パック
詰め調整作業のステップへ進む予
定です。食用ナバナチャレンジセ
ミナーは、新規生産者向けと出荷
を想定した方向けに実施。地域の
担い手育成や農業技術の継承にも
繋がる取り組みとして今後も生産
者を支えます。



間引きをするセミナー生ら



蟹 座
(6・22～7・22)

【全体運】運勢は好調。大きな進展が期待できます。
自分の意見をはっきり伝えましょう。意志を示す
と開運につながります

【健康運】ヨーグルトや納豆で腸活。野菜もたくさん食べて
【幸運の食べ物】ナガイモ



双子座
(5・21～6・21)

【全体運】イラッとするが増えそう。思い通り
にならなくともいつものペースを崩さないように。
平常心が成功の鍵

【健康運】張り切り過ぎてダウンしないようペース配分を
【幸運の食べ物】小松菜



JAawa report 2 営農管理システム Z-GIS を活用したドローン防除



実施前に圃場の地形を確認

9/12 千倉オレンジセンター スマート農業で省力化 柑橘園場でドローンによる 薬剤防除実施

J A 安房、全農ちば、D P S 社（ドローンプロフェッショナルサービス株式会社）は9月12日、南房総市千倉地区柑橘生産者の千倉オレンジセンター園場にてドローン防除を実施しました。

今回の防除は昨年に続き2回目の実施となり初回の昨年は、柑橘の木々の枝が密集していたため薬液が下部の果実まで届かないという課題がありましたが、今年度は対策として同農園野宮勉さんが枝の選定・管理を徹底し、薬液が果実全体に行き渡るよう園場を整備し、技術だけでなく、生産者の知恵と工夫が融合した改善が行われました。

ドローン防除に先立ち、全農がZ—GIS（園場管理システム）を活用して園場をマップ化、そのデータをD P S 社へ共有、これによりドローンは地形や樹形に応じた最適な飛行ルートで薬剤を散布することが可能となり、

この日、80アールの園場へ黒点病、カメムシ類等のドローン防除を行いました。

従来の防除作業では人力による散布が困難な場所も多くありましたが斜面でも安定した散布が実現し、作業負担の軽減に加え薬液の散布量も最適化され環境への配慮にもつながりました。

9/18 丸山地区 笑顔と健康を育む1日 みんなで楽しくグラウンドゴルフ

J A 安房グラウンドゴルフ友の会は9月18日、第45回J A 安房組合長杯争奪グラウンドゴルフ大会を南房総市丸山運動広場で開催しました。J A 安房グラウンドゴルフ友の会は大会を通じ健康で明るい社会づくりを目的として開催しています。残暑厳しい中、同会員107名は和やかな雰囲気でプレーを繰り広げ、「ナイスショット」と歓声が上がる笑顔あふれるイベントとなりました。参加者からは「天気にも恵まれて最高の一日だった」「仲間と楽しく交流できて嬉しい」といった声が寄せられ、健康づくりと親睦を深める貴重な機会となりました。

閉会式では総合上位5人が表彰され鴨川市GG協会の鈴木助市さんが優勝（J A 安房組合長杯）という結果になりました。



乙女座
(8・23～9・22)

【全体運】あれこれ考え過ぎない方がいいようです。シンプルにいきましょう。玄関の掃除は念入りに。よく眠れる枕が◎
【健康運】油断は大敵。早寝早起き朝ご飯で健康維持を【幸運の食べ物】サトイモ



獅子座
(7・23～8・22)

【全体運】一度ストップがかかっても再挑戦の機会に恵まれます。諂めずに続けることが大事。味方は意外と近くにいます
【健康運】スポーツを楽しむ好機。新しい方法を試すのも吉
【幸運の食べ物】カレイ

J Aawa report 3



4月～9月 株式会社 岡本農園

地域と共に育てる農業の学び
米づくり授業で職業理解を深める
南房総市立三芳小学校



精米されるまでの工程を説明する
(株)岡本農園 岡本秀和氏



みんなでバケツ稻用の土を準備



ドローン防除を間近で見学

J A 安房では今年4月から9月にかけ管内南房総市立三芳小学校5年生へ株式会社岡本農園さんと連携した食育授業を実施しました。授業では、播種から収穫までの一連の工程を最新の農業機械の体験を交えながら農業の魅力と農業技術に触れる内容で、最新の田植え機に乗つてもらい田植え体験をしたりドローンによる防除作業の様子、コンバインによる収穫作業やライスセンターでの粉から白米になるまでの過程を見学し、子供たちは最新機械を利用したスマート農業化に驚きの声を上げながら、農業が「未来につながる職業」であることを実感しました。

また、JA職員による「バケツ稻」の栽培指導も行われ、子供たち一人ひとりが学校で稻を育てる取り組みにも挑戦。

日々の観察を通じて食の大切さや農業の奥深さを学びました。JA職員による「バケツ稻」の栽培指導も行われ、子供たち一人ひとりが学校で稻を育てる取り組みにも挑戦。日々の観察を通じて食の大切さや農業の奥深さを学びました。

9月、株式会社岡本農園さん協力のもと機械を利用した稻の収穫を見学し6ヶ月に及ぶ食育授業が終了し、子供たちからは「機械で田植えするのが楽しかった」「ドローンが空を飛んでいてびっくりした」「自分で育てたお米を食べてみたい」「機械で稻を収穫するのが早くてびっくりした」と話し、農業への関心と理解が深まる授業となりました。JA安房では今後も地域の生産者と連携し、子どもたちに農業の魅力と可能性を伝える取り組みを続けていきます。



バケツ稻についてJAによる出前授業



蠍座
(10・24～11・22)

【全体運】勢いがあります。逆転運があるので状況を変えたいなら大きく打って出ましょう。変えたくないならガードを固めて

【健康運】腹も身の内。バランス良く食べ、食べ過ぎには注意

【幸運の食べ物】食用菊



天秤座
(9・23～10・23)

【全体運】おいしいものを食べて元気を回復。紅葉狩りやコンサートに行くのもお勧めです。少し遠くまで足を延ばすのも◎

【健康運】友人とのおしゃべりでストレス発散。散歩も吉

【幸運の食べ物】干し大根



9/29 JA安房本店

J A安房合併30周年記念
感謝のつどい

定期貯金夏得キャンペーン抽選会



抽選された番号を手に笑顔の
投信担当田中代理、佐野富雄代表理事専務、貯金担当尾形代理



本店で行われた抽選会



令和7年7月1日取扱い開始

J A 安房は 投資信託の取扱いをはじめました

投資信託を始めるなら、身近な JA バンクが便利で安心。

専門の JA 職員に気軽に相談できて、様々な投資信託をご検討いただけます。



[投資信託取り扱い店舗]
本店 0470-24-9112

<問い合わせ先>

安房農業協同組合

登録金融機関 関東財務局長(登金)第358号

※他の支店に口座を保有しているお客様につきましても投資信託のお取引は可能です。詳細は JA 職員にお問い合わせください。



山羊座
(12・22 ~ 1・21)

【全体運】運勢は順調。困っていたことが動き始めます。若い人の意見は聞いてみる価値あります。

斬新な発想が前進の秘訣(ひけつ)

【健康運】足湯や入浴で血行を促進。爪のケアも丁寧に

【幸運の食べ物】西洋梨



射手座
(11・23 ~ 12・21)

【全体運】思うようにならない事態に変化が訪れます。主導権を握ますが反動もあります。マイナス面も覺悟してGO!

【健康運】目の疲れを甘く見ないで。頭痛、歯痛は早めに対処を

【幸運の食べ物】ナメコ



9/30 館山市九重地区

「とっとおきの館山」見つけた♪館山の魅力を味わう校外学習

北条小学校 RYO,s FARM×JA安房



パッションフルーツの魅力を伝える梁寛樹さん



JAからも安房の農業についてクイズを交え伝えました

授業を終えた子供たちからは、「パッションフルーツすごくいい香りがした」「館山にこんな果物があるなんて知らなかつた」「JAって大事な仕事なんだ」などの感想が聞こえ、地域の魅力と農業の可能性に触れる学びの時間となりました。JA房では今後も地域の生産者と連携し、子どもたちに農業の魅力を伝える食育授業を続けていきます。

梁さんの話のあとにはJA職員から安房地域の特産品である食用ナバナやJAが地域農業にどのように寄り添っているかについてクイズやディスカッションを交えながら子供たちへ伝えました。

J A安房は9月30日、館山市の魅力を発信する校外学習「とっとおきの館山」を管内北条小学校3年生を対象に、パッションフルーツ農家RYO,s FARMの梁寛樹さんと連携して特別授業を実施しました。授業はパッションフルーツを栽培しているハウスで行われ、子供たちは栽培現場を見学しながら梁さんからパッションフルーツの特徴や育て方、農家としてのやりがいや館山市で就農するきっかけなど貴重なお話を聞きました。また、パッションフルーツを使った「リリコイバター」の試食も行われ、南国の香りと甘酸っぱい味に子供たちは「初めて食べたけど甘酸っぱくておいしい」「もっと食べたい」と驚きと感動の声が聞こえました。



元気いっぱいの北条小学校3年生のみんな



魚座
(2・19～3・20)

【全体運】運勢は好調。追い風に恵まれ多くのことはなんどかあります。強気でいきましょう。下旬からは慎重にペース調整を
【健康運】カルシウムをしっかり取って。筋力トレーニングが吉
【幸運の食べ物】ネギ



水瓶座
(1・20～2・18)

【全体運】壁を感じやすいときです。ただ、その壁は越えるためにあります。一度立ち止まって状況を精査し再考しましょう
【健康運】血液がサラサラになる食材をたくさん食べると◎
【幸運の食べ物】カツオ

9/29 安房合同庁舎

自分のお米を見て、
今年の栽培を振り返る
収量調査から見えたこと
「良稻の学び舎安房」



合同庁舎で行われた研修会

J A安房は9月29日、安房地域の若手水稻生産者を対象に「良稻の学び舎安房」を安房合同庁舎で開催しました。

今回は新たな研修生を迎えて、収量構成要素について実地調査を通じた今年の栽培の振り返りをテーマにしました。研修ではまず、収量について学び、座学の後は研修生が持参した粉を使って塩水選を実施、浮いた粉（未熟）と沈んだ粉（登熟）を分けてことで登熟歩合を調査、自身で作業し自分のお米の状態を確認することで収穫物の品質を客観的に把握することができました。さらに調査結果をもとに簡易的な収量計算を行い、今年の栽培を振り返り水管理や施肥、病害虫防除など日々の取り組みが収量にどう影響したかを分析し、次作に向けた改善点を整理しました。

参加者は「収量構成要素の調べ方、計算

式がとても参考になつた」「粉を見てどの時期に何が悪かったか考えられるようになつた」「粉を自分で栽培を見つめ直し、次作への意欲を高める貴重な機会となりました。J A安房は今後も学びの場を継続的に設け地域農業の担い手育成に繋げていきます。



玄米を塩水選して確認する研修生

南房総農業支援センター、J A安房は9月15日、東京有楽町の国際フォーラムで開催された新農業人フェアで南房総市ブースとして出展しました。

新農業人フェアは「農業に関わってみたい、働きたい」という気持ちを持つ全ての方を対象とした国内最大級の就農イベントで会場には全国の自治体、農業法人、支援機関が一堂に集まり、農業に関心を持つ若者や社会人、学生など約1500人の来場者が賑わいを見せました。

南房総市のブースにも多くの来場者が集まり、順番待ちが発生する状態でしたが一人20分程の対応時間の中「現在サラリーマンをしているが南房総の大地で就農してみたいがどうやって始めたらいかわからない」「どういった作物が栽培されているか」などの質問をする人が多く、新たな地で農業に挑戦したいという熱意が伺えました。

今回の出展に参加したJ A安房加藤浩生統括リーダーは

「今回の農業人フェアでは予想以上に多くの方が来場され、農業に対する関心の高さを実感しました。参加者からは具体的な質問が次々と寄せられ、農業を職業として真剣に考える熱意が伝わってきました。私たちJ Aとしてもこうした出会いを大切にし、地域農業の担い手づくりに繋げていきたいと感じています」と話しました。

センター、J A安房では今後もイベントを通じて、農業の魅力を広く発信し、地域の未来を担う人材との出会いを大切にしていく活動を続けていきます。



多くの方が訪れてくれました

知ることは、未来を切り拓く。



日本農業新聞電子版 キャンペーン実施中

キャンペーンサイトはこちる

知ることは未来を切り拓く



【お問い合わせ先】株式会社日本農業新聞 電子版事務局 dkanri@agrinews.co.jp

日本農業新聞
電子版

紙版より安い！月額 2,403 円 (税込)



お申し込みは
お近くのJAへ

農機安全使用研修会

～身近な農機具の安全な使用と日頃の管理について 再点検してみませんか～

日 時	令和7年12月5日 (金) 14:00~16:00 (受付13:30~)
内 容	1) VRによる農作業事故疑似体験 全国共済農業協同組合連合会 2) 農器具の適正な使用方法やメンテナンス (刈払機、動力噴霧器等を予定) JA安房農機センター職員
会 場	安房農協本店 別棟第一会議室
定 員	20名 (参加費無料)
申込期限	令和7年11月28日 (金)

申込・お問合せは

一般財団法人 南房総農業支援センター
(TEL 0470-28-4595 FAX 0470-20-4592) まで



有害鳥獣対策研修会開催



日 時	令和7年11月28日 (金) 14:00~16:00 (受付 13:30~)
場 所	南房総市役所 別館1 第4会議室 及び近隣圃場
主 催	安房農業協同組合 (一財) 南房総農業支援センター
内 容	1) 防護柵設置の基本 (座学) ・電気柵、ワイヤーメッシュについて 2) 電気柵設置の実演・実習 (近隣圃場) JA全農ちはら・株式会社アポロ
定 員	20名 参加費無料
申込期限	令和7年 11月21日 (金)

申込先 一般財団法人 南房総農業支援センター

(TEL 0470-28-4595 FAX 0470-20-4592) 又はJA 安房 各支店 まで



©やなせ・F・T・N

JA共済プレゼント それいけ！アンパンマンミニショー&握手会

日時 2025年11月22日(土)

観覧無料

1回目／11:00～ 2回目／13:30～

会場 JA安房 JAグリーン館山店駐車場

千葉県館山市安布里448-1

問い合わせ JA安房 共済部

0470-24-9113



※諸般の事情でショーの内容が変更・中止になる場合があります

JA 安房

ジュエリー・メンテナンス & ご愛顧感謝セール

オンワードコーポレートデザイン事業終了に伴い、お手持ちのジュエリーの最後のメンテナンス機会となります。

ジュエリーのお悩みはありませんか？

長年使っていないもの・くすんでいるもの・壊れているもの・デザインの古い思い出の品・昔の立爪婚約リングなど…
タンスの奥に過去に購入された商品が眠っていませんか？

大切なジュエリーが
使っている間に
くすんでしまって…

ネックレスのチェーンが
切れてしまって…

新品仕上げ

◆新品仕上げ

ゆがみ・変形、
小キズ・全体の
汚れなど



ぜひ動画を
ご覧ください！

新品仕上げ説明動画

修理

- ◆ネックレスチェーン直し
- ◆パールネックレスの糸替え

内容により、有料の場合がございます。



専門の職人がお手持ちの商品を新品同様にピカピカに仕上げします。



新品仕上げ・ネックレス修理



お一人様2点 無料

※場合によっては修理できないものや、
有料のものもございます。

JA全農ちば

株式会社 オンワードコーポレートデザイン

※管理No.054801

南房総市内農業用廃プラスチック等の回収について

農業用廃プラスチックの回収を下記のとおり実施します。(雨天決行)

回収対象／ハウス被覆材、肥料袋、マルチ等の塩化ビニール、ポリエチレン、農PO(ポリオレフィン)フィルム、農酢ビ(エチレン・酢酸ビニル共重合体)

回収できないもの／育苗箱、育苗トレイ、園芸用ポット、畦シート、ビニールトタン等

廃プラスチック回収の日程

回収日：及び場所			
回収日	地区	回収場所	回収時間
11月6日（木曜日）	富浦	市役所駐車場	9:00～ 9:30
	富山	JA安房旧平群支店	9:00～ 9:30
	三芳	JA安房富山支店	10:00～ 10:30
11月12日（水曜日）	白浜	JA内房ライスセンター	10:00～ 11:00
	千倉	JA安房担い手支援センター（白浜）	9:00～ 9:30
	和田	道の駅 潮風王国	9:00～ 9:30
11月19日（水曜日）	千倉	JA安房千倉支店	10:10～ 11:00
	和田	地域福祉センターやすらぎ前	9:00～ 9:30
	丸山	JA安房丸山支店	9:00～ 10:00 (豊田・千歳地域) 10:00～ 11:00 (丸地域)

○農業用ビニール等の回収には
お金がかかります。

回収日に現金で領収しますの
で、お釣りの出ないようにご
協力お願いします。

※団体、ご近所など持ち合
せてまとめての持ち込みでも
結構です。

○当日の回収時間に持込をお願
いします。前日は持ち込めま
せん。

○庭先での野焼きは禁止です。
絶対に行わないでください。

【料金】 軽トラック軽乗用車(ワゴン)2,000円 普通トラック普通乗用車(ワゴン)4,000円 一輪車・徒歩等1,000円

お問合せは

●南房総市 農林水産課内 (☎ 0470-33-1071)

JA 安房年金 相談会のご案内

どなたでもお気軽にご相談ください

ご来店の際① 年金手帳 ② 年金証書 ③ ねんきん定期便 ④ 認印
⑤ 雇用保険被保険者証をご持参ください。(書類がない方、JA
とお取引がない方でも気軽にご相談下さい。)

ご相談のご予約は、最寄りの支店までお問い合わせください。

無料

●相談会日程●

11月 6日 (木)	三芳支店	9:00 ~ 12:00	午前:三芳支店、午後:富浦支店
	富浦支店	13:00 ~ 15:00	
11月 12日 (水)	北条支店	9:00 ~ 12:00	
11月 14日 (金)	神戸支店	9:00 ~ 12:00	

金融移動店舗 運行スケジュール



曜日	2025年11月	営業場所	
		午前 (10:00 ~ 11:30)	午後 (13:00 ~ 14:30)
火	4・11・18・25	旧白浜支店	旧豊房支店
水	5・12・19・26	旧鋸南支店	旧館野支店
木	6・13・27	旧小湊支店	旧江見支店

※11月20日(木)の運行につきましては、「JA安房30周年感謝のつどい 石川さゆりコンサート」開催のため、休業させていただきます。

※運行予定日が休日の場合は休業となります。天候不良や車両整備で運行ができない場合や、災害などが発生し、被災地より派遣の要請があった時は臨時休業となります。

お取り扱い業務

- 普通貯金の入金・出金
 - 定期性貯金(定期積金含む)の受入
 - 定期性貯金(定期積金含む)の解約(本人口座へ入金のみ)
 - 通帳記帳・繰越
 - 事故届受付(通帳・証書・カード・印鑑に限る)
- ※1人当たり現金取引については1日50万円以内

11月 JAグリーン館山店、鴨川店定休日のお知らせ 11月12日(水)がお休みとなります

JAGリーン 移動販売11月の予定表

日	曜	時間	場所		
第2週	4	火	10:00 布良漁港前	11:00 白浜支店	
	5	水	10:00 北条支店	11:00 鋸南支店	
	6	木	10:00 西川名公民館		
	7	金	10:00 豊岡青年館	10:40 岡崎新聞店前駐車場	
第3週	11	火	11:00 パークウェルステイト鴨川		
	12	水	JAグリーン定休日		
	13	木	11:00 旧小湊支店		
	14	金	9:30 本店	10:00 千倉支店	
第4週	18	火	10:00 布良漁港前	10:50 白浜支店	
	19	水	10:00 北条支店	11:00 鋸南支店	
	20	木	10:00 西川名公民館		
	21	金	10:00 豊岡青年館	10:40 岡崎新聞店前駐車場	
第5週	25	火	11:00 パークウェルステイト鴨川		
	27	木	11:00 旧小湊支店		
	28	金	9:30 本店	10:00 千倉支店	
10:30 丸山支店					

※その他順次運行予定です。

※時間は目安となります。状況により前後する場合がございますので予めご了承願います。
諸事情により日程の変更等がある場合はJA各支店に掲示致します。

※布良漁港前・岡崎新聞店前駐車場は、雨天・強風の場合は中止となる場合がございます。

※JAグリーンでは農産物等の出荷者を随時募集しています。(産直友の会)

館山店 〒294-0043 千葉県館山市安布里448-1
TEL.0470-30-9211 営業時間 9:00 ~ 17:00
鳥獣対策コーナー設置店舗

鴨川店 〒296-0033 千葉県鴨川市八色557-1
TEL.04-7093-3406 営業時間 9:00 ~ 17:00

11月の切花出荷日

※●印の日は出荷できません

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30						

- は、出荷がありませんので、注意して下さい。
- この表は「花卉卸売市場の臨時休・開市日」を元に作成しております。
- 基本的な出荷は火曜日、木曜日、日曜日となります。
- 2日前出荷(D2)など特殊な出荷につきましてはこの限りではありません。

11月の野菜出荷日

※●印の日は出荷できません

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30						

- 上記カレンダーとは、一部異なる場合がございます。ご不明の点は、各事務局までお問い合わせください。



タイヤキャンペーン！！

期間：11/1～11/30

軽トラック・軽バン などに！

145R12 6P
4本 税込価格

4本セットコミコミ価格

通常4本税込価格

¥35,200 のところ

¥30,800

1本税込価格： ¥7,700

軽トラック・軽バン などに！

145/80R12
4本 税込価格

4本セットコミコミ価格

80/78

通常4本税込価格

¥37,400 のところ

¥33,000

1本税込価格： ¥8,250

軽自動車 などに！

155/65R14
4本 税込価格

4本セットコミコミ価格

通常4本税込価格

¥51,200 のところ

¥48,400

1本税込価格： ¥11,700

上記以外のタイヤサイズもお気軽に問い合わせ下さい。

*上記価格は作業工賃等（¥2,200/本）込みの税込価格となります。詳しくはスタッフまでお問い合わせ下さい。

JA SS
JA 安房

○プラザR128SS :0470-22-0128
○ジャスポート和田SS :0470-47-4777
○とみやまふれあいSS :0470-57-3155
○西条SS :04-7093-1457



燃料の流出事故に注意！

近年、安房地域で農業用燃料タンクや配管からの油流出事故が相次いで発生しています。ひとたび油が流出すると、土壤や河川等の環境を汚染し深刻な影響を及ぼす恐れがあります。また、油の回収は大変難しく、多くの資材や労力、時間が必要となり、事故の原因者は高額な処理費用を負担することになります。

流出事故を未然に防ぐために

- 日常的に機器や設備の点検を行い、破損や劣化が見られた場合は直ちに修理する。
(地下配管で目視が困難な場合は、臭いに注意する)
- 燃料タンクの油量を確認し、減りが早い場合は漏れがないか確認する。
- 暖房機を使用しない期間はバルブを閉めるとともに、燃料タンク内をできるだけ空にする。
- 防油堤の設置、燃料タンクの固定を行う。

安心の“JA葬祭”

ご葬儀・ご法事・
事前相談は…
年中無休・24時間受付



0120-015-983

JA葬祭の詳しい内容は右の
QRコードをお読みいただくか、
ホームページをご覧ください。



<https://jalife.co.jp>

○令和7年度第9回定例理事会
とき 令和7年9月30日
ところ 本店 大会議室
主な議案／育児・介護休業法の
改正等に伴う職員育児休業規程
及び職員介護休業規程の一部変
更について／嘱託職員就業規則
の一部変更について／「取引の
リスク評価書」の定例改正につい
て

理事会報告

みんなの広場

頭の体操 クロスワードパズル

二重マスの文字をA～Eの順に並べてできる言葉は何でしょうか？

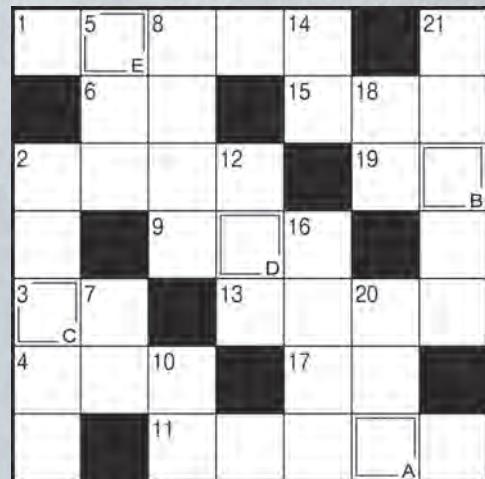
出題・ニコリ

タテのカギ

- ②川辺や海岸で見られる冬鳥。東京都民の鳥です
- ⑤熱海と並んで有名な、伊豆半島東部の温泉地
- ⑦分別して出します
- ⑧雄弁は銀、——は金
- ⑩陶器よりも高い温度で焼きます
- ⑫耳の長い動物
- ⑭天高く——肥ゆる秋
- ⑯暦の上ではこの日から冬
- ⑯櫛(くし)の材料によいとされる木
- ⑳『源氏物語』の作者は紫——です
- ㉑SLとも呼ばれる蒸気——

ヨコのカギ

- ①育つこと。七五三は子どもの——を祝う行事です
- ②——果敢に若武者が戦う
- ③江戸時代のタクシーです
- ④秋の山を彩ります
- ⑥「豚」の音読み。——カツ
- ⑨金属の輪を長くつないで作ります
- ⑪旅先の体験を書き綴ったもの
- ⑬平安貴族の乗り物。モーと鳴く動物が引きます
- ⑯よく晴れた日の、夕日の色といえば
- ⑰佐渡島にはこの鳥の保護センターがあります
- ⑲ギターに張ります



■ 355号
クロスワード
パズル正解
カタオモイ

まちがいさがし



右のイラストには左のイラストと違う部分が5カ所あります。
間違っている部分を左下の枠内の数字で探ししましょう。
出題・イラスト：酒井栄子



答え

- 1…木になっている栗がない
- 2…山が見える
- 7…ドアにケーキの絵が描かれていない
- 10…ケーキの上に栗がない
- 12…チョコが水筒に変わっている

■ 355号
まちがいさがし正解

1 2 7 10 12

クロスワードパズル・まちがいさがし応募要項

はがきに必要事項を明記してお送り下さい。クロスワードパズル・まちがいさがしの両方を正解された方の中から、抽選で10の方に500円分の図書カードをプレゼントいたします。
送り先 〒294-0005 館山市安東72 JA安房広報担当宛
締め切り 令和7年11月10日（月）消印有効

10月も後半になり、朝晩の空気は秋の深まりを感じるようになってきました。とはいっても、日中は汗ばむような陽気が続き、農作業や屋外活動ではまだまだ熱中症対策が欠かせません。早い圃場では食用ナバナが収穫の時期を迎え、青々とした葉が風に揺れる様子に季節の移ろいとともに地域の営みの力強さを感じます。

以前JA安房広報誌の表紙を飾っていただいたRYO.s FARMさん、株式会社岡本農園さんは取材を通じてご縁が深まり、今では小学校での授業にもご協力いただいている。農業の現場を子どもたちに伝える取り組みは地域の未来を育む大切な時間です。生産者の言葉に耳を傾ける子どもたちの姿に私たちも多くの気づきをもらっています。

季節は「食欲の秋」真っ只中、美味しい野菜を囲む食卓が家族の会話を豊かにしてくれます。

そんな日常の中で地域の農業に思いを馳せるきっかけが生まれたら嬉しいです。

次号では、JA安房の新たなブランド「南房総レモン」や新米贈呈の様子、そして子どもたちが給食を美味しく食べているシーンなどを通じて「育てる人」と「食べる人」が繋がる瞬間をお届けする予定です。地域の農業が子どもたちの記憶に残る体験となるよう、これからも丁寧に伝えていきたいと思います。寒暖差があり服選びが難しい季節ですが、体調に気をつけて過ごしましょう。「読書の秋」もありますのでゆっくり過ごす際にはJA安房の広報誌もよろしくお願い致します。

- ①クロスワードパズル答え
- ②まちがいさがし答え
- ③〒・住所
- ④氏名・年齢
- ⑤電話番号
- ⑥広報誌の感想

クイズ当選者（敬称略）

- 諒訪 啓子（館山市）
鈴木 唯（館山市）
川名 和子（館山市）
関谷 静子（南房総市）
吉川 美律江（南房総市）
伊藤 由美子（南房総市）
堀江 厚志（南房総市）
小原 茂樹（鴨川市）
高橋 まさ子（鴨川市）
大場 正式（鴨川市）



農業は、子どもたちの笑顔を育て、地域の未来を耕す仕事です。
サッカーのように、一人ではゴールできない。

だからこそ、地域の仲間と、訪れる皆さんと、心をつなないでいきたい。
このまちで過ごす時間が、あなたの人生の、『特別な一日』になりますように。
私たちは、今日も畑で、海で、まちで、感動を育てています。

株式会社 ワンオール 代表取締役 下羽 秀平



JA 安房 HP

HPはこちらにアクセス

<https://www.ja-awa.or.jp>

JA安房広報誌；JAあわ；第356号
発行日：令和7年10月20日
発行：安房農業協同組合
〒294-0005 千葉県館山市安東72
☎ 0470(24) 9111



JAグループ

耕そう、大地と地域のみらい。